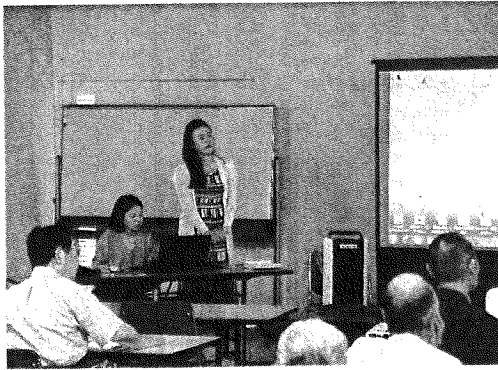


飯伊地方の文化 留学生が迫る



飯田下伊那地方での研修
成果を発表する留学生

法政大国際文化学部(東京都)で学ぶ留学生ら5人が8日まで、飯田下伊那地方で研修している。7日は、リニア中央新幹線や飯田市の多文化共生の状況など、それぞれが調べたことについて飯田市民館で市民らに報告した。

東京都で暮らす留学生たちが中山間地の文化や歴史を学び、日本をさ

飯田 市民らに研修報告

さまざまな視点で見えてほしいと2012年から毎年行っている。下伊那郡天龍村の平岡ダムを見学したり、同郡泰阜村で山村留学をしている子どもたちと交流したりした。

韓国出身の李銀恵さんはリニア中央新幹線について興味を持ち、残土処分や安全性などについてリニア推進派と反対派の意見をそれぞれ聞いてまとめた。「もっと多くの人に話を聞きたい」と話した。

飯田市内の日本語教室を見学した中国出身の楊素姍さん(22)は、先生が生徒の悩みも聞いていることに感銘を受けたという。さらに飯田市には、中国帰国者が安心して使えるよう中国語で対応できるディサービスがあるなどとし、「飯田のやり方をまねれば、日本でグローバル化が進むのではないか」とまとめた。

